

『日本介護福祉士会ニュース』の見直しに関する調査結果の概要と総括

2022年5月18日

公益社団法人日本介護福祉士会

会長 及川 ゆりこ

『日本介護福祉士会ニュース』（以下「ニュース」）は、定期的に発行している本会の会報誌です。会員の皆様だけでなく、会員以外の方にもご購入いただいております。会員の皆様への有益な情報提供と、入会・定着促進をねらいとする『ニュース』の刷新についての検討につなげることを目的に、運営サポーターを対象とする調査を実施しましたのでご報告いたします。

【主な結果の概要】

1. よく読んでいる会員は、会や介護業界の動きや制度・政策等に関心を持っている

『ニュース』をよく読んでいる会員が、読む主な理由（複数回答）は、「介護福祉士の運営について情報を知りたいから」「介護に関する制度・政策等の新しい情報を知りたいから」「職能団体としての活動状況を知りたいから」「介護業界の動きを知りたいから」が多かった。

2. 会員同士等で話題となる内容となっていない

『ニュース』の内容が会員同士等で話題になっているかについては、「あまり話題にならない」41件（44.1%）、「まったく話題にならない」34件（36.6%）が多かった。

3. 報告事項が多いことや表現や内容が固いことに読みづらさを感じる会員もいる

文章表現や内容は「とても読みやすい」「まあまあ読みやすい」があわせて65件（69.9%）だったが、一方で、読みづらいと感じる主な理由（複数回答）については、「報告事項が多い」30件（31.9%）、「文章表現が固い」26件（27.7%）、「内容が固い」22件（23.4%）が多かった。

4. 会員は、業務に関する内容や地元に関する情報を期待している

『ニュース』で取り上げて欲しい情報として、介護技術やサービスに関する情報、都道府県の状況や都道府県介護福祉士の事業に関する情報、日本介護福祉士の取組などがあげられた。

5. web 配信のニーズは高い

『ニュース』の発行方法については、「印刷物（郵送）とweb配信の両方がよい」51件（54.3%）が最も多く、次いで「web配信のみでよい」26件（27.7%）だった。

【総括】

- ・ 会員が入会メリットを実感できる、職能団体の会報誌としての『ニュース』のあり方を再検討し、多様なニーズにどのようにして対応すべきか、検討する必要がある。
- ・ 『ニュース』のweb配信に対する会員のニーズを受けとめ、実現をめざす。一方で、紙媒体になじんでいる会員が多いことも考慮し、会員が情報を得るツールを確保すべきである。
- ・ 文字やデザイン等の書式については「現在のままでよい」という回答が多いものの、改善案について様々な意見が述べられていることから、これらの意見を多くの会員に読んでいただくための具体的な改善策に結びつける。
- ・ 本調査の結果について、広報委員会及び関係の各担当役員へ会員の声としてフィードバックする。会として、『ニュース』を含む本会の広報活動のあり方の検討において、介護職員として活躍している会員にとって有益な情報源となるよう、継続して善処するよう努める。